



Q 子育て支援について

こばやし
小林ひとみ 議員



A 市内全ての施設で質の高い保育の提供に努める

問 待機児童の現状は。

答 保育所の待機児童は、毎年4月1日を基準日として国の調査が行われている。本市は、増加する保育需要に応えるため、認可保育所や小規模保育施設の整備をはじめ、入所定員の弾力化などに取り組んできた。このため、平成31年4月の国定義の待機児童はゼロとなり、26年から6年連続でゼロを達成している。

問 保育の質を維持する取組は。

答 公立保育所では、人事評価制度の実施や研修体制の充実により、質の向上に取り組んでいる。民間保育園に対しては、保育士確保のための経費の補助を行うほか、保育士の専門性を高める研修などの周知をし、研修受講の促進に努めている。質の向上の取組は、公立

民間で違いはなく、今後も市内全ての施設で質の高い保育を提供できるように努めていきたい。

問 こども医療費助成制度の窓口払いの拡充について。

答 窓口無料化の範囲を拡充するには、対象となる医師会等や医療機関と個別の調整が生じる。こうした個別の解決には、広域での調整が必要なため、現在、埼玉県市長会から県に対して要望している。

◎その他の質問 風疹拡大防止について

Q 歩道の安全確保について

まつお
松尾 孝彦 議員



A 安全確保に向けた道路環境の改善に取り組む

問 学校安全計画での登校時の安全対策について。

答 当該計画に基づき、通学路の安全点検を定期的に行っている。また、保護者、学校応援団、スクールのガードの方々にも、登下校時の見守りの際に通学路の安全を確認していただいている。これらの

情報は、学校協議会やスクールガード研修会で共有を図っている。

今後も、学校、家庭、地域の連携のもと、児童・生徒の安全確保に努める。併せて、児童・生徒が交

問 警察・道路管理者との連携に

ついて。

答 通学路の安全対策に関する要望等については、適宜、西入間警察署との現地立会いを行い、どのような安全対策が必要かを検討し、安全確保に向けた改善をしている。

問 今後の安全確保について。

答 西入間警察署と対策を検討するなど、関係機関と連携を図り、子どもを交通事故から守るための安全の確保に向けた道路環境の改善に取り組む。

◎その他の質問

- 一 読書リアフリー法への対応について
- 二 男性の育児支援について

